

館林市報道資料

令和7年4月24日

<p>表題</p>	<p>令和7年度クビアカツヤカミキリ撲滅プロジェクトの開始</p>
<p>内容</p>	<p>クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラなどの生木に食入・加害することで樹木を衰弱させる特定外来生物です。市では、多くのサクラがこの害虫により、被害を受けていることから樹木を守るため、「クビアカツヤカミキリ撲滅プロジェクト」を実施します。</p> <p>(1) 駆除奨励金交付制度</p> <p>館林市内において、クビアカツヤカミキリの成虫を駆除し、10匹以上死骸を提出した方に対し、1匹あたり50円を交付します。 (10匹から交付申請可、上限200匹まで)</p> <p>① 期間 令和7年5月12日(月)～7月31日(木)</p> <p>(2) 防除用品の配布制度</p> <p>自宅、集会所等の被害木1本につき、スプレータイプの登録薬剤1本及び防虫ネットを配布します。(上限10本分)</p> <p>① 期間 令和7年5月12日(月)～7月31日(木)</p> <p>(3) 樹幹注入処理制度(幹の中で駆除)</p> <p>クビアカツヤカミキリを殺虫するため、市が被害樹木(サクラに限る)へ薬剤の樹幹注入を行います(上限10本分)</p> <p>① 期間 令和7年5月12日(月)～8月29日(金)</p>
<p>本件の 問合せ先</p>	<p>地球環境課環境保全係 (Tel.0276-47-5125)</p>

令和
7年度

クビアカツヤカミキリ

撲滅プロジェクト

5月12日(月)
受付開始

○クビアカツヤカミキリ（クビアカ）とは

👉 サクラやウメ、モモなどの木の中を食い荒らす
害虫（特定外来生物）です。

<特徴> 光沢のある黒色で胸部(首部)が赤色

<体長> 約2.5~4センチメートル

<生態> 幼虫は、樹木内部で2~3年かけて成長。

6月~8月頃に成虫となって樹木の外に現れる。



○被害の内容と確認方法

👉 幼虫はサクラなどの生木に「フラス」
(木屑とフンが混ざったもの)を発生
させながら食入します。
加害が進行すると樹木を衰弱させ、
落枝等による被害が発生する可能性が
あるため、注意が必要です。



まずはフラスの有無を確認しましょう。幼虫が食入した跡（フラス） 被害のあった樹木（断面）

○撲滅プロジェクト(クビアカツヤカミキリの撲滅に向けた取り組み)

その1. 駆除奨励金交付制度

期限：令和7年7月31日(木)

対象：市内に在住、在勤、在学の方

内容：市内でクビアカツヤカミキリの成虫を
駆除し、死骸を提出した方に、
1匹あたり50円を交付します。

※令和6年度から奨励金の交付のみ

提出先：同環境保全係又は各公民館へ

※10匹から申請が可能(上限200匹まで)

※公民館受付は6/2(月)~7/31(木)

その2. 防除用品の配布制度

期限：令和7年7月31日(木)

対象：市内に居住する方、市内の事業所、
行政区

内容：**被害木1本につき、登録薬剤(スプレー)**
1本と防虫ネットを交付します。

※上限は被害木10本分まで

※防虫ネットは被害木の幹周の2倍の長さ分

※申請の際に被害木の写真が必要です。

その3. 被害樹木の樹幹への薬剤注入制度

期限：令和7年8月29日(金)

対象：市内に居住する方、又は市内に事業所
がある事業主、各行政区

内容：**市の委託業者が被害樹木への樹幹注入**
処理を行います。

※上限は被害木10本分まで

※対象樹木はサクラのみ

※被害状況により施工できない場合が
あります。

費用：原則無料(施工に際し、構造物の撤去等で費用が
発生した場合は申込まれた方の負担になります。)

※防除用品の配布・薬剤注入は地球環境課に
お問合せ・お申し込みください。



■問合せ先

館林市役所 地球環境課 環境保全係

TEL:0276-47-5125 (直通)

kankyo@city.tatebayashi.gunma.jp